

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科	単 位 数	授 業 形 態							
英語B (English Speech)	選択	森川 寿	5 年 生 機 械 工 学 科	2	通 年 週 2 時 間							
授業概要	現代社会における様々なトピックについて英文エッセイを書き、それを基にスピーチにまとめて発表する。教科書を通して効果的な構文・表現を学び、それらを自分のエッセイやスピーチで活用するよう練習する。トピック毎に背景知識を学び、自分の意見をまとめる。 授業中に数人ずつ短いスピーチをする。											
到達目標	英検2級 (TOEIC 600) 程度のリスニング・読解・語彙・スピーチ能力をつける。											
評価方法	1. 課題、ショート・スピーチなど 40%      2. 期末試験 30%      3. スピーチ 30% 1～3の合計で到達度60%以上で合格とする。											
教科書等	静 哲人著 <i>Writing Facilitator: Introduction to Paragraph Writing</i> (松柏社)											
内 容					学習・教育目標							
第 1 週	オリエンテーション、Unit 1. A Paragraph as a product				D							
第 2 週	2. Writing a Topic Sentence				D							
第 3 週	2. Writing a Topic Sentence				D							
第 4 週	3. Writing Supporting Sentence				D							
第 5 週	3. Writing Supporting Sentence				D							
第 6 週	4. Writing a Concluding Sentence				D							
第 7 週	4. Writing a Concluding Sentence				D							
第 8 週	<The Process of Paragraph Writing>				D							
第 9 週	5. Explaining your character				D							
第10週	5. Explaining your character				D							
第11週	5. Explaining your character				D							
第12週	6. Describing Your Daily Life				D							
第13週	6. Describing Your Daily Life				D							
第14週	6. Describing Your Daily Life				D							
第15週	スピーチ・テスト				D							
					<前期末試験>							
第16週	7. Expressing an Opinion				D							
第17週	7. Expressing an Opinion				D							
第18週	7. Expressing an Opinion				D							
第19週	8. Giving Advice and Instructions				D							
第20週	8. Giving Advice and Instructions				D							
第21週	8. Giving Advice and Instructions				D							
第22週	9. Comparing and Contrasting				D							
第23週	9. Comparing and Contrasting				D							
第24週	9. Comparing and Contrasting				D							
第25週	10. Explaining Japanese Culture				D							
第26週	11. Describing Data Expressed in Graphs				D							
第27週	11. Describing Data Expressed in Graphs				D							
第28週	12. Summarizing What You Have Read				D							
第29週	12. Summarizing What You Have Read				D							
第30週	スピーチ・テスト				D							
					<後期末試験>							
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
										○		

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

## 英語B English B (5年生選択)

### ガイダンス

English Bでは、英語を通して自分の意見をまとめて発表する練習をします。

まず、自分の意見をより効果的に読者や聴衆に伝えて納得させるために、必要な英語表現に慣れます。同じ事を言うのでも、単に思いついたことを並べただけでは、人に理解してもらうことは難しいのです。これが問題点なんだ、これが結論なんだよ、と示すような表現を習ってください。

さらに、論理的に文章を並べ、段落を構成することも必要です。教科書はパラグラフ・ライティングの教科書です。日本語で言う段落と英語のパラグラフは似て非なるものです。パラグラフは、複数の文で構成され、論理的にまとまった主張や説明を行なう一つの単位です。エッセイやスピーチは、パラグラフをいくつか組み合わせることで成り立っていますから、きちんとしたパラグラフを書く練習が大切です。

授業では、書くことと話すことに集中して練習します。

1. 毎回数人ずつ1～2分のショート・スピーチをして、人前で話すことに慣れます。まず身近なトピックから話してもらいますが、回を重ねるうちに、教科書で扱われているような社会問題などにも取り組みます。
2. 身近な問題から地球的な話題まで、さまざまなトピックから1つトピックを選んでエッセイを書いて提出します。教科書の練習問題はそのための課題です。
3. 授業のまとめとして、2で書いたエッセイを基に、前期後期のそれぞれの最後の時間に、皆の前でスピーチをします。効果的で説得力のあるプレゼンテーションを期待しています。

社会人になれば、政治・経済・社会問題について自分の意見を発表することもしばしば求められます。この授業を通して、英語の発表力だけでなく、皆さんの社会人としての視野が広がることを念じています。